



陣内食堂に参加した
まつもと 松本すずさん、まつもと 松本颯介さん、まつもと 松本順之介さん

発達障害のある子どもたちが地域で安心して暮らしていくために、私たち「発達障がい者支援センターわっふる」は、地域で支援できる体制を作っていくことや人材の育成などを進めています。

支援には、直接関わる一次支援と間接的に関わる二次、三次支援があります。一次支援である幼稚園や保育園、学校や療育事業所などに、研修や相談支援を行っています。相談支援の件数は、昨年度で2,000件近くに達し、発達障害のある人に対する支援の必要性が高くなっていることを感じています。

発達障害のある人は、自分の思考が他の人とズレていくことに注意や叱責を受け、社会に出ることができない状態になってしまします。

思考のズレを「違うよね」と伝えるのではなく「こうだよね」と伝える、つまり否定ではなくやり方を伝えることで、当人の自己肯定感が高まります。自己肯定感が低くなると社会参加の機会が減少します。それは労働の機会も減るので、全体的な労働力も減ることになります。

発達障害について「自分は関係ない」と思わないことが大切です。発達障害のある人の割合は6・5%とされています。100人の地域では6〜7人の割合で困っている人がいるのです。そのため「この人は何に困っているんだろう」と考えていくことが大事です。

地域で役割のある人たちが否定的な関わりでなく、肯定的な関わりをしていくことで、信頼関係が生まれます。そうすれば、地域との関わり方も変わってきます。

発達障害のある人は、できないではなく、やり方が分からないのです。思考や視点の違いがあることを理解し、今だけを見るのではなく、将来を見据えて支援していくことが大切です。

発達障害のある人は、
できないではなく、
やり方が分からないだけ



熊本県北部発達障がい者支援センター わっふる
センター長

たなべ たけまさ
田邊 剛政さん



熊本県北部発達障がい者支援センター わっふる
大津町大字室213-6 さくらビル2階
☎096(293)8189

Chapter 3

そして、
共に生きる。

その日は日差しが強く、とても暑かったけど、参加した子どもみんなが笑顔になっていました。

8月18日、地域活動支援センター「アンパ」で陣内食堂が開催、陣内地区の皆さんが家族で流しそうめんを楽しみ、かき氷を食べて地域交流を行いました。

きょうだいで参加した、松本順之介さん、松本すずさん、松本颯介さんは「ピザを作ったり、流しそうめんもあつたりして、とても楽しかったです」と3人が笑顔で答えました。

平成29年から開始して今回で4回目の陣内食堂。誰でも参加できて、老若男女みんなで楽しめます。

このイベントは、社会福祉法人三気の会と大津町更生保護女性会の支部の一つである上陣内支部の皆さんが企画して生まれたイベントです。

町にある2つの団体が思いを一つにして始めたこの取り組み。楽しみながら、障害のある人に対する理解も進む、素晴らしい取り組みです。

地域で共に生きるとは、どのような意味なのでしょう。陣内地区で行われた陣内食堂で印象的だったのは子どもたちの笑顔でした。子どもは未来へとつながる町の宝物です。

「シリーズ障害福祉」の最終回である今回は、子どもがテーマです。

まずは、発達障害について知ってみましょう。

発達障害とは？

発達障害とは、生まれつき脳の動きや使い方が違うもので、発達の遅れではありません。見た目には障害があるように見えないので、周囲が理解することが、発達障害がある人の安心につながります。

こんなことはありませんか？

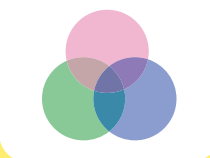
- 一人で遊ぶことが多い
- 自分の好きな話ばかり続ける
- 言葉を文字通りに受け取る
- 相手の表情から気持ちを読み取れない
- 予定が急に変わるとパニックになる
- 忘れ物やケアレスミスが多い
- 座っていても常に体のどこかを動かす
- 少しでも見えたものに敏感に反応する
- 急に飛び出す
- 先生の話を中心して聞けない
- 文字や数字の形を正しく認識できない
- 文章をスムーズに読めない
- 簡単な計算ができない
- 要点をまとめて話すのが難しい
- 聞き取りが苦手



発達障害の種類

発達障害は、自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障害、学習障害などがあり、それぞれに特徴があります。

いくつかの障害が重なることもあります



自閉症スペクトラム (ASD)

(高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害)

注意欠如多動性障害 (AD/HD)

学習障害 (LD)

陣内食堂は、
ここでしかできないこと

青少年健全育成のために、上陣内地区で何かをしたいと思っていましたが、三気の会さんから「アンパを活用しませんか」と言われて、陣内食堂を始めることができました。この食堂は、私たちと三気の会さんができる「ここでしかできないこと」ですね。障害のある人への理解も進むので、もっと子どもたちが参加してくれるように頑張ります。

大津町更生保護女性会

- すなの みつよ 砂野 光代さん
- やまなか みちよ 山中 美智代さん
- みやもと きよみ 宮本 喜代美さん

